

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

内は地方農政局等において記入

(都道府県名: 大分県)

市町村名 (または地区名)	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
九重町	九重町	産地競争力の強化	果樹産地構造改革計画	果樹	果樹産地構造改革計画の策定	・協議会の開催 ・ブルーベリーつみ取りマニュアルの作成 ・栽培技術講習会 ・消費動向調査	果樹産地構造改革計画の策定(H18.3)	・協議会の開催 2回 ・つみ取りマニュアル 3000部 ・栽培講習会 1回 ・消費動向調査(東京1回、福岡1回、鹿児島1回)	○	○		○	100%
杵築市	中央柑橘園芸連(杵築地区)	産地競争力の強化	生産性向上	果樹	果樹産地構造改革計画の策定	・委員会の開催 ・専門部会の開催 ・実証圃の設置 ・低コストマニュアルの作成	果樹産地構造改革計画の策定(H17.11)	・委員会の開催 1回 ・専門部会の開催 2回 ・実証圃の設置 2ヶ所 ・低コストマニュアルの作成 550部	○	○		○	100%
大分県	大分県	産地競争力の強化	生産性向上	花き	・県産花きに対するホームユース用での要望とりまとめ ・年間10a当たり収量5%増加	協議会の開催12回 調査の実施6回 実証・試験等の実施8ヶ所 技術の普及(研修会開催)7回 啓発活動(パンフ作成)600部	・県産花きに対するホームユース用での要望とりまとめ(6回) ・年間10a当たり収量5%増加(トルコキキョウ26千本/10a→34千本/10a スイートピー10千本/10a→11.2千本/10a)	協議会の開催12回 調査の実施6回 実証・試験等の実施8ヶ所 技術の普及(研修会開催)7回 啓発活動(パンフ作成)600部	○	○	一部県産花きについてホームユース用生産の可能性が測れた。 対象産地の花き(トルコキキョウ、スイートピー)については、収量が向上した。	○	100%
玖珠町	玖珠町	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	野菜(白ねぎ)	新規栽培者の確保5名	推進協議会の開催4回 技術講習会の開催2回 先進地調査1回	新規栽培者5名を確保	推進協議会の開催4回 技術講習会の開催4回 先進地調査1回	○	○		○	100%
九重町	九重町	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	野菜(白ねぎ、トマト)	面積拡大1ha	推進協議会の開催2回 実証圃の設置2ヶ所 技術講習会の開催3回	白ねぎの面積拡大1ha	推進協議会の開催2回 実証圃の設置2ヶ所 技術講習会の開催3回	○	○		○	100%
中津市	中津市	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保 品質向上	野菜(こねぎ、白ねぎ)	作付面積の拡大10% 消費者との交流会1回	協議会の開催1回 専門委員会の開催3回 研修会の開催5回 優良事例調査1回 啓発活動 1回	作付面積の拡大10% 消費者との交流会1回	協議会の開催1回 専門委員会の開催3回 研修会の開催5回 優良事例調査1回 啓発活動 1回	○	○		○	100%
宇佐市	宇佐市	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保 品質向上	野菜(玉ねぎ)	新栽培技術の導入20戸	推進協議会の開催3回 栽培マニュアルの作成100部 先進地研修	新栽培技術の導入20戸	推進協議会の開催3回 技術講習会の開催3回 栽培マニュアルの作成100部 先進地研修	○	○		○	100%

(都道府県名：大分県)

市町村名 (または地区名)	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
—	大分県	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	家畜改良増殖(肉用鶏)	豊のしゃも出荷羽数 40,000羽	豊のしゃもの系統造成を行い出荷羽数を増やす。	豊のしゃもヒナ出荷羽数 43,989羽	豊のしゃもの系統造成を行い出荷羽数を増やした。	○	○		○	100%
—	豊のしゃも推進協議会	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	家畜改良増殖(肉用鶏)	出荷羽数 40,000羽	協議会の開催 飼養状況調査の実施 適正飼養管理現地指導の実施 能力向上研修	出荷羽数 43,989羽	協議会の開催 飼養状況調査の実施 適正飼養管理現地指導の実施 能力向上研修	○	○		○	100%
—	九州生乳販売農業協同組合連合会	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	生乳乳製品流通(乳用牛)	生乳計画生産目標数量の達成	推進会議の開催 指導調査の実施 現地指導の実施	九販連775,363t うち大分県分102,983t	推進会議の開催 指導調査の実施 現地指導の実施	○	○		○	100%
—	大分県酪農業協同組合	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖(乳用牛)	乳成分分析 120,000件	乳成分分析調査の実施	乳成分分析 127,019件	乳成分分析調査の実施	○	○		○	100%
—	大分県酪農業協同組合	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖(乳用牛)	調整交配調査12回 保留育成調査12回 娘牛交配調査12回 娘牛分娩調査12回	調整交配調査の実施 保留育成調査の実施 娘牛交配調査の実施 娘牛分娩調査の実施	調整交配調査18回 保留育成調査18回 娘牛交配調査18回 娘牛分娩調査18回	調整交配調査の実施 保留育成調査の実施 娘牛交配調査の実施 娘牛分娩調査の実施	○	○		○	100%
佐伯市	佐伯市	産地競争力の強化	品質の向上	畑作物・地域特産物(茶)	生産技術の普及・浸透、有機栽培への取り組み、土壌の物理的改善	協議会の開催 20人、3回 生産技術講習会の開催 30人、4回 土壌分析の実施 40点、1回	生産技術の普及・浸透、有機栽培への取り組み、土壌の物理的改善に取り組んだ結果、品質の向上が図られた。 生葉Aランク (H17.46%→)	協議会の開催 20人、3回 生産技術講習会の開催 30人、4回 土壌分析の実施 40点、1回	○	○		○	100%
大分県	大分県	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	野菜	実証圃成績書作成3ヶ所 展示圃成績書作成3ヶ所 いちご高品質品種への更新30%	指定産地育成協議3回 指定産地濃密指導20産地生産出荷安定化指導11地区 専門別講習会3回 価格公表協議会12回 必要入荷量見直し検討会3回 中央協議会1回 消費者ニーズ調査2回 産地活性化指導5回 実証圃設置3ヶ所 展示圃設置3ヶ所	実証圃成績書作成3ヶ所 展示圃成績書作成3ヶ所 いちご高品質品種への更新30%	指定産地育成協議3回 指定産地濃密指導20産地生産出荷安定化指導11地区 専門別講習会3回 価格公表協議会12回 必要入荷量見直し検討会3回 中央協議会1回 消費者ニーズ調査2回 産地活性化指導5回 実証圃設置3ヶ所 展示圃設置3ヶ所	○	○		○	100%
大分県	大分県	産地競争力の強化	生産性の向上	畑作物・地域特産物(茶)	担い手への農地集積により8haの茶園造成	加工技術研修会の実施 4回 技術者養成研修の実施 3回 実証圃の設置 2ヶ所 栽培マニュアルの作成 1式 産地育成推進パンフの作成 400部 品評会の開催 1回 生産動向調査・検討会開催 10回 事業効果の検証 12回	担い手への農地集積により8.6haの茶園造成ができた。	加工技術研修会の実施 4回 技術者養成研修の実施 3回 実証圃の設置 2ヶ所 栽培マニュアルの作成 1式 産地育成推進パンフの作成 400部 品評会の開催 1回 生産動向調査・検討会開催 10回 事業効果の検証 12回	○	○		○	100%

(都道府県名：大分県)

市町村名 (または地区名)	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
大分県	大分県	産地競争力の強化	生産性の向上	畑作物・地域特産物(たばこ)	13,000千円の粗生産額生産者110戸育成	協議会の開催 アンケート調査の実施 5人、2回	13,000千円の粗生産額生産者は81戸にとどまった。	協議会の開催 アンケート調査の実施 5人、2回	×	×	たばこについては、収穫前の長雨等により、品質が著しく低下し、指標である1kg当たり販売代金が1,801円と過去10年間で最低となった。このことにより、販売額が伸びず結果として、目標を達成できなかった。 18年度については、引き続き個別規模の拡大を図る一方で、品質の向上に努め、目標の達成を図る。	×	0%
大分県	大分県	産地競争力の強化	生産性向上	鳥獣害防止	協議会の開催2回	集落リーダー養成研修の開催2回 協議会の開催2回	協議会の開催2回	集落リーダー養成研修の開催2回 協議会の開催2回	○	○		○	100%
大分県	大分県	産地競争力の強化	生産性向上	地産地消	地域直販所の農林水産物(野菜・果物・花等)取扱額の増加1割 食彩愛用店広報誌発行10,000部 固有食材継承活動	県推進協議会の開催(幹事会・推進会議各1回 60名) サポーター組織交流活動(2回 80名) 直販ネットワークづくり(参加205事業所) 愛用店の募集 集・広報(登録153店 広報誌 公共用1,000部 一般販売9,000部) その他農産物情報誌発行(4回各6,000部) 固有食材の継承活動(4品目)	地域直販所の農林水産物(野菜・果物・花等)取扱額の増加1割 食彩愛用店 広報誌発行10,000部 固有食材継承活動	県推進協議会の開催(幹事会・推進会議各1回 60名) サポーター組織交流活動(2回 80名) 直販ネットワークづくり(参加205事業所) 愛用店の募集・広報(登録153店 広報誌 公共用1,000部 一般販売9,000部) その他農産物情報誌発行(4回各6,000部) 固有食材の継承活動(4品目)	○	○		○	100%
大分県	大分県	産地競争力の強化	品質向上	果樹	果樹農業振興計画の策定	協議会の開催 産地生産状況調査の実施 果樹硬度化技術経営研修の実施 資料、パンフレットの作成 地域別指導推進	果樹農業振興計画の策定(H18.3)	協議会の開催 産地生産状況調査の実施 果樹硬度化技術経営研修の実施 資料、パンフレットの作成 地域別指導推進	○	○		○	100%
大分県	大分県	産地競争力の強化	農畜産業の環境保全	環境保全	環境保全型農業指針300部作成・配布 環境負荷低減実証圃の設置2ヶ所 技術検討会の開催	協議会の開催 環境負荷低減実証圃の設置 環境保全型農業指針作成・配布 技術検討会の開催	環境保全型農業指針300部作成・配布 環境負荷低減実証圃の設置2ヶ所 技術検討会の開催	協議会の開催 環境負荷低減実証圃の設置 環境保全型農業指針作成・配布 技術検討会の開催 エコファーマー認定者数1,742名 ソルゴーと白菜との輪作5ha	○	○		○	100%
大分県	大分県	産地競争力の強化	農作業の機械化・安全対策	農業生産体制保安	農作業保安指導員の育成 農業機械士の養成	農作業保安指導員の育成 農業機械士の養成	農作業保安指導員の育成 農業機械士の養成	農作業保安指導員44名 農業機械士44名	○	○		○	100%
大分県	大分県	産地競争力の強化	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	野菜	実証圃成績書作成2ヶ所 展示圃成績書作成3ヶ所 夏ねぎ作付け拡大6ha	実証圃設置2ヶ所 展示圃設置3ヶ所 実証圃検討会3回優良産地事例調査4回	実証圃成績書作成2ヶ所 展示圃成績書作成3ヶ所 夏ねぎ作付け拡大6ha	実証圃設置2ヶ所 展示圃設置3ヶ所 実証圃検討会3回優良産地事例調査4回	○	○		○	100%
大分県	豊後高田市	産地競争力の強化	生産性向上	畑作物・地域特産物(そば)	単収の向上 現状から5%以上	そば産地活性化推進協議会の開催 実証圃の設置 生産状況巡回調査 生産技術講習会の開催 そばの啓発活動	単収の向上 現状から5%以上	そば産地活性化推進協議会の開催 実証圃の設置 生産状況巡回調査 生産技術講習会の開催 そばの啓発活動 播種後の台風及び豪雨の影響により収量が減少し、計画を達成できなかった。(達成率56%)	○	○		○	100%

(都道府県名：大分県)

市町村名 (または地区名)	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
大分県	豊後高田市	産地競争力の強化	品質向上	土地利用型作物(麦・大豆)	栽培マニュアルの作成	麦・大豆産地活性化推進協議会 技術向上研修会 生産技術講習会	栽培マニュアルの作成	麦・大豆産地活性化推進協議会 技術向上研修会 生産技術講習会	○	○		○	100%
大分県	JAぶんご大野	産地競争力の強化	生産性向上	土地利用型作物(水稲・麦・大豆)	10aあたり費用合計が稲において10%以上減 麦において2.5%以上減 大豆において5%以上減	産地協議会の開催 先進地研修 技術講習会 土壌分析、品質分析 実証圃の設置(大豆)	10aあたり費用合計が稲において10%以上減 麦において2.5%以上減 大豆において5%以上減	産地協議会の開催 先進地研修 技術講習会 土壌分析、品質分析 実証圃の設置(大豆) 費用合計の減少割合目標達成率 稲101% 麦124% 大豆122%	○	○		○	100%
大分県	宇佐市	産地競争力の強化	品質向上	土地利用型作物	栽培マニュアルの作成	麦・大豆産地協議会の開催 先進地視察 栽培研修会 栽培マニュアル作成	栽培マニュアルの作成	麦・大豆産地協議会の開催 先進地視察 栽培研修会 栽培マニュアル作成	○	○		○	100%
大分県	大分宇佐農業協同組合	産地競争力の強化	品質向上	土地利用型作物	新品種の計画的な導入	新品種実証圃の設置 先進事例の調査 成分分析検査	新品種の計画的な導入	新品種実証圃の設置 先進事例の調査 成分分析検査 四国裸100号 12.57ha ミナミカオリ 40ha	○	○		○	100%
大分県	大分県農協中央会	産地競争力の強化	品質向上	土地利用型作物	県共励会の開催	全国麦作共励会 全国豆類経営改善共励会推進指導等	県共励会の開催	全国麦作共励会 全国豆類経営改善共励会推進指導等	○	○		○	100%
—	大分県	産地競争力の強化	生産性の向上	家畜改良増殖	ランドレース種(L)による豚系統造成(平均血縁係数20%以上、個体間の血縁係数10%以上)	ランドレース種(L)の閉鎖群育種による豚系統造成試験の実施	第4世代の総合育種価雄は選抜豚平均33.9 標準化された選抜差(i)は1.43 集団の血縁・近郊係数は16.84%、6.10%	ランドレース種(L)の閉鎖群育種による豚系統造成試験の実施		○		○	100%
—	大分県	産地競争力の強化	生産性の向上	家畜改良増殖	49日齢体重 ♂1,200g ♀1,050g 産卵率68% 卵殻強度 3.5kg/cm ²	九州ロードの系統造成試験の実施	第10世代の成績 ♂1,421g ♀1,136g 産卵率76.3% 卵殻強度 3.77kg/cm ²	九州ロードの系統造成試験の実施		○		○	100%
—	大分県	産地競争力の強化	生産性の向上	家畜改良増殖	175日齢体重 ♂3,500g ♀2,400g 産卵率50%	シャモ(大分系)の系統造成試験の実施	平成17年度種鶏成績 ♂3,921g ♀2,574g 産卵率54.3%	シャモ(大分系)の系統造成試験の実施		○		○	100%
—	大分県	産地競争力の強化	生産性の向上	家畜改良増殖	産卵率45% 卵重38g 卵殻強度 3.5kg/cm ²	烏骨鶏の系統造成試験の実施	第3世代の成績 産卵率48.2% 卵重39.3g 卵殻強度 3.77kg/cm ²	烏骨鶏の系統造成試験の実施		○		○	100%

(都道府県名：大分県)

市町村名 (または地区名)	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
—	大分県	産地競争力の強化	生産性の向上	飼料増産	試験圃設置1ha	飼料イネ普及展示試験圃設置	試験圃設置1ha	飼料イネ普及展示試験圃設置		○		○	100%
山香町	山香町	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖(肉用牛)	肉用繁殖雌牛70頭導入	実証、試験の実施 ・家畜導入基金造成	肉用繁殖雌牛 70頭導入	実証、試験の実施 ・家畜導入基金造成	○	○		○	100%
豊後大野市	豊後大野市	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖(肉用牛)	肉用繁殖雌牛95頭導入	実証、試験の実施 ・家畜導入基金造成	肉用繁殖雌牛 60頭導入	実証、試験の実施 ・家畜導入基金造成	△	△	子牛市場価格が高沸する一方で、高齢化により地域内で経営中止する畜産農家が現れ、手放された繁殖雌牛の地域内保留に努めた結果、目標達成に至らなかった。	△	50%
竹田市	竹田市	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖(肉用牛)	肉用繁殖雌牛185頭導入	実証、試験の実施 ・家畜導入基金造成	肉用繁殖雌牛 180頭導入	実証、試験の実施 ・家畜導入基金造成	○	○		○	100%
九重町	九重町	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖(肉用牛)	肉用繁殖雌牛30頭導入	実証、試験の実施 ・家畜導入基金造成	肉用繁殖雌牛 20頭導入	実証、試験の実施 ・家畜導入基金造成	△	△	子牛市場価格が高沸する一方で、高齢化により地域内で経営中止する畜産農家が現れ、手放された繁殖雌牛の地域内保留に努めた結果、目標達成に至らなかった。	△	50%
玖珠町	玖珠町	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖(肉用牛)	肉用繁殖雌牛80頭導入	実証、試験の実施 ・家畜導入基金造成	肉用繁殖雌牛 80頭導入	実証、試験の実施 ・家畜導入基金造成	○	○		○	100%
日田市	大分ひた農業協同組合	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖(肉用牛)	肉用繁殖雌牛28頭導入	実証、試験の実施 ・家畜導入基金造成	肉用繁殖雌牛 28頭導入	実証、試験の実施 ・家畜導入基金造成	○	○		○	100%
中津市	中津下毛農業協同組合	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖(肉用牛)	肉用繁殖雌牛20頭導入	実証、試験の実施 ・家畜導入基金造成	肉用繁殖雌牛 20頭導入	実証、試験の実施 ・家畜導入基金造成	○	○		○	100%
中津市	下郷農業協同組合	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖(肉用牛)	肉用繁殖雌牛10頭導入	実証、試験の実施 ・家畜導入基金造成	肉用繁殖雌牛 10頭導入	実証、試験の実施 ・家畜導入基金造成	○	○		○	100%
宇佐市	宇佐市	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖(肉用牛)	肉用繁殖雌牛8頭導入	実証、試験の実施 ・家畜導入基金造成	肉用繁殖雌牛 2頭導入	実証、試験の実施 ・家畜導入基金造成	×	×	子牛市場価格が高沸する一方で、高齢化により地域内で経営中止する畜産農家が現れ、手放された繁殖雌牛の地域内保留に努めた結果、目標達成に至らなかった。	△	50%

(都道府県名：大分県)

市町村名 (または地区名)	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
—	大分県	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	家畜改良増殖(みつばち)	県内転飼計画の調整(出先12回、本庁1回)	みつばち転飼調整会議の開催13回	県内転飼計画の調整(出先12回、本庁1回)	みつばち転飼調整会議13回 花粉交配実態調査12地区	○	○		○	100%
—	大分県	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	生乳乳製品流通(乳用牛)	生乳計画生産目標数量の達成99,578t	生乳需給調整会議の開催	102,983t	延べ5人、4回	○	○		○	100%
—	大分県	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	食肉等流通体制整備(採卵鶏)	県鶏卵需給調整協議会年1回 地区鶏卵需給調整協議会5ヶ所×年1回	県鶏卵需給調整協議会の開催 地区鶏卵需給調整協議会の開催	年1回 5ヶ所×年1回	年1回 5ヶ所×年1回	○	○		○	100%
—	大分県	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	畜産生産基盤育成強化(肉用牛、乳用牛)	新規就農希望者の確保7名	新規就農希望者に対する実践技術研修 研修受入希望調査 研修センター運営会議 研修計画策定協議	7名	11ヶ月間実践研修 5回 1回 1回	○	○		○	100%
—	大分県	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	食肉等流通体制整備(肉用鶏)	県ブロイラー需給調整会議年1回	県ブロイラー出荷調整会議 ブロイラー生産出荷動向調査	年1回	1回 2回、70カ所	○	○		○	100%
—	大分県	産地競争力の強化	生産性向上	畜産生産基盤育成強化(肉用牛、乳用牛)	県酪農・肉用牛生産近代化計画策定 市町村酪農・肉用牛生産近代化計画策定指導(16市町)	酪肉近代化計画ブロック会議 県酪肉近代化委員会 総括委員会 小委員会 市町村酪肉生産近代化計画作成指導 全体会議 市町村計画作成指導会議 酪肉経営改善調査 飼料生産利用調査	県、16市町	1回 1回 2委員会、2回 12地区、1回 12地区、3回 5市町村、3回 5市町村、3回	○	○		○	100%
—	大分県	産地競争力の強化	生産性向上	畜産生産基盤育成強化(肉用牛、乳用牛)	個別指導農家数135件 グループ指導農家数330件	畜産担い手の育成対策に係る支援指導 データベース活用による効率的支援指導 支援指導研究会の開催 指導相談窓口の設置	145件 285件	畜産担い手の育成対策に係る支援指導 データベース活用による効率的支援指導 支援指導研究会の開催 指導相談窓口の設置	○	○		○	100%
—	大分県	産地競争力の強化	生産性向上	飼料増産(飼料作物)	奨励品種の改廃 自給飼料分析500点	奨励品種選定会議 奨励品種試験圃設置 展示圃設置 飼料適正給与指導 分析機器整備	500点	30人、2回 1.2ha 12カ所、0.2ha 500点 粗繊維分析機1台	○	○		○	100%
—	大分県	産地競争力の強化	生産性向上	飼料増産(飼料作物)	飼料増産計画の策定 自給飼料パンフ1000部作成配布	飼料増産検討委員会の開催 地区飼料増産推進検討会の開催 自給飼料推進パンフレット作成	策定 1000部	15人、2回 12地区、2回 パンフ1000部作成配布	○	○		○	100%

(都道府県名: 大分県)

市町村名 (または 地区名)	事業実施主体 名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体 による 評価	都道府 県による 評価	都道府県による評価結果の 判断根拠、要因分析 (必要に応じて記入)	農政局 による 評価	成果目 標の達 成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
—	大分県	産地競争力の強化	生産性向上	飼料増産(飼料作物)	放牧推進会議の開催 3回 放牧事例調査 14地区	放牧推進会議の開催 放牧技術研修会の開催 放牧事例調査	3回 14地区	10人、3回 1回 14地区、延べ58人	○	○		○	100%
—	大分県	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖(乳用牛)	検定データ分析 1080件 牛群検定研修会 2回 牛群検定の加入推進 2回	検定データ分析 牛群検定研修会 牛群検定普及推進	1,080回 2回 2回	1,080回 2回 2回	○	○		○	100%
—	大分県	産地競争力の強化	生産性向上	家畜改良増殖(肉用牛)	優秀種雄牛造成 20頭 高能力雌牛群の整備(県全体)	高能力種雄牛選抜 雌牛能力調査指導	20頭	20頭	○	○		○	100%
					家畜導入現地指導(12地区、4回、56主体、2回) 地域事業推進会議の開催等(12地区、2回)	家畜導入現地指導 地域事業推進会議の開催等	12地区、4回、56主体、2回 12地区2回	12地区、4回、56主体、2回 12地区2回	○	○		○	100%
—	大分県	産地競争力の強化	生産性向上	畜産新技術実用化(肉用牛)	性別別や遺伝的改良に向けた新技術の確立と受胎率の向上	共同試験 技術者養成 雌雄産み分け DNA育種基盤の確立	23.1%	120頭 1回 40頭 1式	○	○	性別別の受胎率は前年に対し、5.5ポイント減の23.1%であった。しかし、移植頭数は前年を上回る結果となった。	○	100%
—	大分県	産地競争力の強化	生産性向上	畜産新技術実用化(肉用牛、乳用牛)	都道府県個体識別システム推進会議の開催(1回、200人) 飼料抽出検査の実施(12地区、3回、96検体)	都道府県個体識別システム推進会議の開催 飼料抽出検査の実施	1回、200人 12地区、3回、96検体	1回、200人 12地区、3回、96検体	○	○		○	100%

※様式は「強い農業づくり交付金の事業評価の実施について」(平成17年10月3日付け17生産第3510号農林水産省大臣官房国際部長、農林水産省総合食料局長、農林水産省生産局長、農林水産省経営局長通知)別記様式1-1(1)に準じる。

(注)1. 取組名欄の()内には、対象作物・畜種等名を記入する。

- 「評価」の欄は、成果目標の達成状況について、達成又は概ね(8割以上)達成されたと判断される場合は○、概ね半分(4割)以上達成されたと判断される場合は△、これ以下の場合は×を記入する。
- 複数の項目を成果目標として掲げている場合、成果目標の達成率は、それぞれの項目の達成率の平均とする。
- 地方農政局等において記入する成果目標の達成率については、○においては100%、△においては50%、×においては0%の達成率とする。